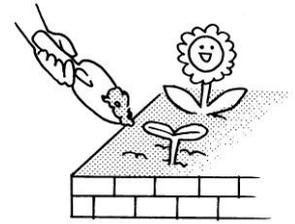


# コンポスの使い方



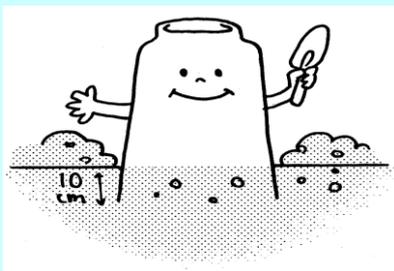
“コンポスト”を使って、生ごみを堆肥にさせることができます。土の中の微生物の働きにより生ごみを腐敗させ、腐敗したものを土に埋めることで、栄養豊かな堆肥が完成します。

☆ 準備するもの☆

- コンポスト
- 生ごみ



1 日当たりや水はけのよい場所にコンポストを設置します。30cm程土を掘り、容器を10cm程度地中に埋め固定します。掘った時に出た土は容器のまわりに盛ります。



2 生ごみを良く水切りし、容器に投入します。(水分が多いと分解が遅かったり、臭いが強く出やすくなります。)

【ポイント!】



悪臭などの原因になりますので、水切りをしっかりと行ってください。

3 上から土を全体にかけます。生ごみと土をサンドイッチ状に入れていき、容器が一杯になるまで繰り返します。

【ポイント!】

時々、容器の中身をかき混ぜて空気を送ってください。

はえ等の虫や悪臭が発生した場合は、土や乾いた落ち葉を入れる等、水分調整を行ってください。



4 一杯になったら設置した容器を引き抜き、よくかき混ぜ、土をかぶせて熟成させます。数か月ほどして、黒っぽくなり、嫌な臭いがしなくなれば堆肥の完成です。畑や花壇などにご利用ください。



☆ そのほかに、土や枯葉のほか、もみがら、おがくず、米ぬかや市販の微生物調整剤などを適宜投入すると発酵促進に効果的です。